

支援センター だより

栄町住民活動支援センター

12

2面…中学生職場体験
3面…地域の“わ”
活動者の「はじめの一步」
4面…インフォメーション

2010 No.103

活力あるまちづくりを進める活動の拠点として

支援センター事業 =活動応援サロン=

第3回《938交差点》

団体や個人の皆さんの活動を応援する《938交差点》第3回の開催です。今回は栄町役場横の緑道で、植栽活動を行い、地域の子も達と一緒に間伐材などで作ったオブジェを設置し、憩いの場づくりをしている団体『花・花 H2O』です。もうすぐクリスマス！どんぐりを使った「かわいいミニオブジェ」作りに参加しませんか。

日時: 12月19日(日) 10:00~12:00
場所: 住民活動支援センター 交流サロン
内容: どんぐりを使った工作
講師: 花・花 H2O 会員 参加費: 無料



子どものまち交流会開催

11月20日(土)住民活動支援センターに、町内で子どもに関する活動をしている団体が集まり、団体の活動についての意見交換を行いました。話し合いの結果、今後は活動団体が力を合わせて子どもが楽しく参加でき、思い切り元気になる『子どものためのフェスタ』開催に向け話し合いを進めていくことになりました。

次回の話し合い: 12月19日(日) 10:00~
興味のある方は、ぜひご参加ください。

※詳しいことは、支援センターにお問合せください。Tel80-1733

知ってる?! 栄町

~布鎌と水神社の関係~



白馬に乗った水神

【布鎌惣社神社】

皆さんは「水神社」を知っていますか？

水神様は布鎌惣社神社といい、水防の神様として祭られています。

水神社は、明治43年の利根川の洪水の際に避難場所として使われた場所です。

昔、洪水が起きた夜に水神様が白馬に乗り、布鎌の土手を見回り洪水を食い止めたという話があります。それで10月23日に行われる祭りは、当時は洪水を防ぐための祭りでしたが、今は一年の豊作無事を願う祭りへと変わっていきました。

水神様は相撲を好んでいました。その為相撲が現在でも水神社で行われています。昔は西の若者組とよその相撲好きと相撲をやっていました。今では布鎌小学校の生徒同士で相撲をしています。また以前は地芝居などをやっていたのですが、今はお年寄りの方々が唄や三味線を弾いています。このように内容は変化していても【願う】ということには変わりはないようです。布鎌と水神社にはこのような関係があり、今も深く根付いています。

戦争中では赤紙を買ったら水神社から木下まで若者を先頭にして、戦争に行く人達を送りだしていった時もあったそうです。

取材担当: 小林【栄中2年】

~早稲田大学大学院 金子祥之さんのお話~

栄町立栄中学校職場体験
中学生広報班 NO1